

2019年 7月25日
京成電鉄株式会社
北総鉄道株式会社

京成電鉄・北総鉄道合同

「スカイライナー異常時合同訓練」

千葉県警察本部、印西警察署と連携し実施しました スカイライナー車内での不審者、不審物発見時の対応力を強化 7月24日（水） 9：30～ 北総鉄道 印旛車両基地

京成グループの京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：小林 敏也）と北総鉄道（本社：千葉県鎌ヶ谷市、社長：室谷 正裕）では、7月24日（水）9：30より、北総鉄道の印旛車両基地（千葉県印西市）において「スカイライナー異常時合同訓練」を実施しました。

これは、京成電鉄・北総鉄道両社における重大事故等の発生時に安全を確保するための対応力・技術力の向上および関係各者間の連携強化を目的として、2010年度より毎年実施しているものです。今回は東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催を来年に控えていることから、テロ発生時の対応力を一層強化するため、スカイライナーの車内に刃物を持った不審者がいることおよび爆発物が置かれたことを想定し、千葉県警察本部、印西警察署と連携して実施しました。

訓練は総勢約150名が参加して行われ、京成電鉄・北総鉄道両社間の連絡通報体制や訪日外国人を含めたお客様の避難誘導、警察との連携などを確認しました。

なお、訓練の詳細は次頁のとおりです。



訓練の様子（写真左：避難誘導の様子、写真右：不審者確保の様子）

スカイライナー異常時合同訓練について

1. 日 時 2019年7月24日(水) 9:30~12:00
2. 場 所 北総鉄道 印旛車両基地 (千葉県印西市)
3. 参加者 京成電鉄社員、北総鉄道社員、千葉県警察本部、印西警察署
約150名
4. 訓練概要 (1)事故想定内容
- ・運転中にお客様から車内に刃物を持った不審者がいるとの通報を受け、速やかに停止。
 - ・状況を確認し、一旦運転再開後、最寄り駅に臨時停車。旅客の避難誘導を行う。
 - ・駆け付けた警察により不審者を確保。車内捜索を行った結果、爆発物を発見。爆発物処理班が出動し、爆発物の処理を行う
- (2)訓練内容
- ・連絡通報体制の確認、お客様の誘導案内、ケガをしたお客様の対応
 - ・警察との情報伝達、報道対応
 - ・不審者の確保、爆発物処理対応
 - ・訪日外国人旅客への対応

以 上